

日本科学者会議神奈川支部第 61 回大会議案

はじめに

いま、学術会議への菅首相による任命拒否が、何の説明もされないまま、政府は学術会議法改正案を閣議決定し、学問、科学の権力からの独立性を脅かそうとしています。すでに県内大学では理事者の権限が強化され、教授会など自治がないがしろにされるとともに、非常勤の職員が増大し身分の不安定な任期制によって多くの人々が職場をおわれ、研究の継続が困難になっています。

経済では、かつてない物価高騰によって生活は苦しくなっています。政府の一次産業への切り捨てともいえる政策は、主食であるコメすら足りなくなる事態になりました。アメリカのトランプ政権は、高率な関税によって国内産業を保護することを表明していますが、グローバル化の旗頭であったアメリカの対応は世界の非難を浴びています。

これに対して、日本政府は、毅然とした態度をしめすこともなく、食料品などでデールをしようとしています。さらに、トランプ政権はウクライナへの侵攻をつづけるロシア、ガザ地区への殺戮ともいえるイスラエル、を擁護してきました。トランプ政権は、イスラエルへの非難する大学への補助金の打ち切りなど、露骨な介入をしています。大学当局はこれを拒否しています。また、気候変動枠組み条約からも離脱しました。少数与党として発足した石破政権は第 7 次エネルギー基本計画で、原子力、石炭火力の拡大を決定し、パリ協定による温暖化ガスの削減に背を向けています。

日本科学者会議神奈川支部（JSA かながわ）は科学者会議の方針を具体化し、沖縄につぐ基地県として、沖縄に連帯しながら、日米安保条約にもとづく再編強化に反対し、米軍ノースドックへの小型揚陸艇部隊の配置などさまざま、課題に取り組んできました。また、コロナ禍においては保健所など衛生行政の弱体化がその背景にあること、病棟の整備、後遺症への対応などを県・おもな地方自治体、市議会に提言をおこなって、一定の見解を引き出してきました。昨年は 10 月に、ひろく市民にむけて『核兵器開発への科学者の責任』を問う講演、そして研究交流会を開催し、また支部大会での研究交流会は支部会員による教育問題の講演とシンポジウムを開催します。

日本科学者会議神奈川支部（JSA かながわ）は科学者会議の方針を具体化し、沖縄につぐ基地県として、沖縄に連帯しながら、日米安保条約にもとづく再編強化に反対し、米軍ノースドックへの小型揚陸艇部隊の配置などさまざま、課題に取り組んできました。また、コロナ禍においては保健所など衛生行政の弱体化がその背景にあること、病棟の整備、後遺症への対応などを県・おもな地方自治体、市議会に提言をおこなって、一定の見解を引き出してきました。支部は『九条科学者の会』『平和で明るい神奈川県政をつくる会』などに参加するなど、神奈川、横浜市などの市民の民主的活動に寄与してきました。

支部は今年で結成 60 周年をむかえます。会員数は多い時には数百人でしたが、現在は 4 分の 1 以下となっています。全国的には減少がつづいていますが、支部はここ数年現状を

維持して毎年、新しく入会されています。幹事会は定期的開催され、雑誌の郵送は自力で行っています。しかし、昨年の大会時点で会員の平均年齢は 70 歳、病気などで退会される方も多く、このままでは、組織的な運営が困難になることは明白です。現役会員を増やし、大学ごとの活動の再開、さらには、幹事会の若返りが必要です。東京に次ぐ一千万ちかい人口をようし、多くの大学、研究機関などが立地している神奈川県、全国で最大の基礎的自治体の横浜市など、その課題は多様であって、科学者会議に求められるもの大きい。

報告の部

A 活動報告

社会的活動（他団体との交流、個人参加ほか）

- 1) 横浜ノースドック見学会&学習会（2024 年 3 月 22 日、万国橋会議センター、70 人、ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会と横浜平和委員会の共催）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 5 月号）
- 2) 憲法を考える 5.3 県民集会：軍事大国化のための改憲（5 月 2 日、かながわ県民センターホール、講演：大江京子さん（弁護士、改憲問題対策法律家 6 団体連絡会事務局長）「軍事大国化のための改憲一憲法審査会のいま」、主催：かながわ憲法フォーラム、200 人）に参加（JSA 神奈川支部通, 2024 年 6 月号）
- 3) 2024 年 5 月 3 日（憲法記念日）の「九条かながわの会」主催の桜木町駅前広場での宣伝活動に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 6 月号）
- 4) 5.3 県民のつどい（5 月 3 日、県立青少年センターホール、講演：志田陽子さん（武蔵野美術大学教授）「平和の危機と『表現の自由』一人権保障こそが安全保障」、主催：神奈川憲法会議、600 人）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 6 月号）
- 5) 学習会「栄区の防災対策を考える」（3 月 28 日、さかえすた 3 階大会議室、主催：栄区革新懇、栄区九条の会、新日本婦人の会栄支部、年金者組合栄支部、50 名）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 6 月号）
- 6) 第 14 回鶴見平和フェスティバル「平和を創る集い in 鶴見」（5 月 19 日、講演：ダニー・ネフセタイさん「元イスラエル軍兵士が語る憲法 9 条の真価」、青井未帆さん（学習院大学教授）「憲法 9 条の視点から安保政策の転換を考える」、鶴見公会堂ホール、230 人）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 7 月号）
- 7) 安保法制違憲かながわ訴訟で東京高裁が不当判決（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 8 月号）
- 8) 第 5 回山中市政を進める市民のつどい（6 月 23 日、市従会館 4 階ホール、127 人）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 8 月号）
- 9) 4 区市民連合主催衆議院選挙勝利集会（6 月 25 日、鎌倉生涯学習センターホール、220 名）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 8 月号）
- 10) 根岸線沿線九条の会：安田菜津紀さん講演会（6 月 29 日、横浜港南台教会、150 人）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2024 年 8 月号）

- 11)安保法制違憲全国ネットワークと総がかり行動実行委員会主催の市民集会「とりもどそう立憲主義と平和憲法」(7月10日、参議院議員会館講堂、300人)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024年9月号)
- 12)ノースドック米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会第2回総会(7月13日、神商連会館4階ホール)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024年9月号)
- 13) 原水爆禁止 2024年世界大会・科学者集会「ビキニ被災70年から被爆80年へー核兵器禁止条約への日本政府の参加を求めて」(7月27日、静岡大学)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024年10月号)
- 14) 学習会「人権から捉える気候変動問題」(7月27日、あーすぷらざ会議室、41名、講演: 山本大貴さん)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024年10月号)
- 15)2024年8月15日(終戦記念日)の九条かながわの会とかながわ女性九条の会主催の桜木町駅前広場での宣伝活動に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024年10月号)
- 16) 防災・減災学習会(8月20日、神商連会館4階ホール、主催: 平和で明るい神奈川県政をつくる会、講演: 室崎益輝さん(神戸大学名誉教授)「減災社会と被災者支援ー能登半島地震に学ぶ」、報告: 井坂新哉さん(共産党県議)「神奈川県における減災・防災の取り組みと課題」)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024年10月号)
- 17) 市民のための横浜市政を進めるシンポジウム(9月1日、横浜市開港記念会館、100人以上、講演: 内田聖子さん(岸本聡子事務所事務局長)「地域主権と公共の再生をめざしてー杉並区長選と住民運動の経験」、主催: 市民のための横浜市政を進める会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024年10月号)
- 18)憲法改悪を許さない緊急交流会(9月28日、かながわ県民センター会議室、57人、呼びかけ: 九条かながわの会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024年11月号)
- 19)憲法改悪を許さない緊急交流会(9月28日、かながわ県民センター会議室、57人、呼びかけ: 九条かながわの会)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024年11月号)
- 20) 市民の市長をつくる会第47回定期総会(10月3日、横浜市健康福祉センター)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024年12月号)
- 21) シンポジウム「政府与党改憲方針の問題点」(10月6日、かながわ県民センターホール、講演: 清水雅彦さん(日本体育大学教授)「実質改憲としての『安保3文書』とその先にある9条改憲」、永山茂樹さん(東海大学教授)「緊急事態条項創設改憲の2つの危険ー議員任期延長と緊急政令改憲」 主催: 神奈川憲法アカデミア、121人)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2024年11月号)
- 22) 横浜ノースドック米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会の桜木町駅前街宣に参加(10月11日)(JSA 神奈川支部通信, 2024年11月号)
- 23) 和田征子さん(日本被団協事務局次長)のノーベル平和賞受賞式参加壮行会(11月29日、鶴見公会堂会議室、85人)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2025年1月号)
- 24)横浜ノースドックの全面返還を求める集会(12月17日、神商連会館、挨拶: 後藤仁敏、

講演：星野潔さん、報告：山根徹也、行動提起：飛田久男主催：米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会）に参加（JSA 神奈川支部通信,2023 年 2 月号）

25) 地域・職場・青年革新懇全国交流会 in 京都（11 月 30 日、12 月 1 日、京都テルサ、570 名）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 1 月号）

26) 栄区革新懇総会（12 月 4 日、あーすぷらざ研修室、22 名、講演：政村修（市民のための横浜市政を進める会事務局長）「山中市政の 3 年間と市長選の課題」）に参加（JSA 神奈川支部通信 2025 年 1 月号）

27) 戦争しないと決めた憲法を、活かそう NO War our liberty!集会（12 月 22 日、桜木町駅前広場、500 名、主催：ピースかながわ）に参加（JSA 神奈川支部通信,2025 年 2 月号）

28) 「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどい（2 月 11 日、かながわ県民センターホール、基調報告：後藤仁敏、講演：志田陽子さん（武蔵野美術大学教授）「平和憲法と《シンボルの政治》を考える」、125 人）に参加、JSA 神奈川支部も参加する実行委員会主催（JSA 神奈川支部通信,2025 年 3 月号）

29) 加藤陽子さん講演会「戦争への道ーその時学問は」（2 月 4 日、横浜市開港記念館講堂、主催：神奈川県弁護士会）に参加（JSA 神奈川支部通信,2025 年 3 月号）

30) 神奈川大学人有志声明「日本学術会議法案に反対します」（2 月 27 日、有志 16 名の声明）に参加（JSA 神奈川支部通信,2025 年 4 月号）

31) 神奈川国民運実行委員会の国会議員要請統一行動（2 月 19 日、衆議院第一議員会館多目的ホール、100 人）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 4 月号）

32) 学習会「どうなっている？今の授業と教科書」（2 月 22 日、かながわ県民センター会議室、講演：金馬国晴さん（横浜国立大学教授））に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 4 月号）

33) 平和で明るい神奈川県政をつくる会総会・県予算案学習会（2 月 25 日、建設プラザ、講演：神田敏史さん（県民連絡会）、報告：井坂新哉県議）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 4 月号）

34) 神奈川国民運実行委員会の国会議員要請統一行動（3 月 19 日、衆議院第一議員会館大会議室、93 人）に参加（JSA 神奈川支部通信, 2025 年 5 月号）

研究活動

1) 支部研究交流会を 2024 年 10 月 19 日にかながわ労働プラザで開催、講演：山崎正勝会員（東京工業大学名誉教授）「核兵器廃絶への科学史、科学者そして市民の責任ー『原爆の父』オッペンハイマーその栄光と没落から考える」に続き、惣田昱夫会員（静岡理工科大学元教授）「有機フッ素化合物(PFAS)とは何か」、中野広会員（元水産総合研究センター）「気象変動と海洋環境」、後藤仁敏会員（鶴見学名誉教授）『図説 歯からみた生物の進化』出版の苦労ばなし」の 3 つの話題提供があり、活発な討論をおこなった（JSA 神奈川支部通信,2024 年 12 月号）

2) 第 25 回総合学術研究集会「平和で豊かな地球を子や孫に伝えるためにー市民として科学者として今、私たちにできること」(11月23日～12月8日、オンライン開催)に参加(JSA 神奈川支部通信, 2025 年 1 月号、日本の科学者 2025 年 3 月号) A1 平和問題分科会「戦争のない平和な時代を拓く」に後藤が参加し、「横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備の撤回と早期全面返還を求める市民運動」について報告、A2 分科会「九条改憲の動向の多角的検討: 九条科学者の会 19 周年の集い」に後藤が参加し、「草の根の運動で憲法改悪を許さなかった九条の会運動ー九条科学者の会かながわの 20 年を中心に」について報告した。

3. 組織活動

- 1) JSA 神奈川支部第 60 回定期大会 (2024 年 5 月 18 日、かながわ労働プラザ) 出席者 23 人と委任状 11 人で 3 分の 1 以上で成立。記念講演: 萩原伸次郎会員 (横浜国立大学名誉教授)「サンダース後のアメリカ」 活動報告、活動方針、会計報告を了承、役員選出を行なった (JSA 神奈川支部通信, 2024 年 7 月号、8 月号)
- 2) 日本科学者会議第 55 回定期大会 (5 月 25 日・6 月 9 日、オンライン開催)に、代議員として飯岡が、幹事として後藤が参加 (JSA 神奈川支部通信, 2024 年 7 月号、日本の科学者, 2024 年 9 月号)。
- 3) 「日本の科学者」編集委員会 (2025 年 1 月 4 日、オンライン開催) の報告 (JSA 神奈川支部通信, 2025 年 2 月号)
- 4) 「日本の科学者」2025 年 4 月号読者会 (2025 年 4 月 5 日、オンライン開催)に参加 (JSA 神奈川支部通信, 2025 年 5 月号)

C 支部費改定案 (保留)

第 59 回大会では支部費改定を提案し、この第 60 回大会まで一年間の継続討議とすることにしました。『支部会費は 2,400 円で、2008 年から 15 年間据え置いてきました。支部ではこの会費を維持するため、毎月の雑誌の発送実務を幹事会の前に行うなど、経費の削減に努力してきました。しかし、2022 年度は、活動が正常化する中で、全国的な会議も再開され、また、支部が事務局をおく「かながわ総研」の移転に関わる支出もあって、赤字になりました。…支部会費の改定は 2,400 円 (月 200 円) から 4,800 円 (月 400 円)』するものです。一年間の討議では改定はやむを得ないという意見が多数ですが、反対の意見もみられました。また、全国大会など全国的な会議はいずれもオンラインで行われるなど、オンラインは利点ばかりではないものの、当面、出張費などの経費は抑制されています。近年にない大幅な物価上昇は生活への打撃となっています。したがって、今年度も支部費は据え置きとして改定を見送ります、なお、15 年以上の据え置いている支部会費ですから、しかるべき時期に改定を提案することになると思います。

D 会計

第 61 期予算案（第 60 期決算含む） 別紙

第 60 期決算は前年度の会費、当年度の会費ともに納入率が高かったため、前年度は特別会計から補充をししましたが、今年度は黒字となっています。しかし、繰越額は減少しているため、会員の拡大、会費納入の督促が必要となっています。

E 役員（新任（新）以外はすべて留任）

支部幹事：飯岡ひろし、後藤仁敏、鈴木秀顕、惣田昱夫、中野広、萩原伸次郎、濱田盛久、益田総子、横尾恒隆、中島常安（新） 会計監査：北山宏之 支部事務局長：飯岡ひろし（会計兼務）

支部代表幹事：萩原伸次郎 『日本の科学者』編集委員、平和で明るい神奈川県政をつくる会：後藤仁敏 大会代議員：飯岡ひろし

次期役員の対策については幹事会に対策委員会を設けて、来年度の役員選出までに次世代継承を具体化する。委員会 萩原、後藤、惣田、飯岡、（ ）

F 今期の取組

1. 社会的活動

- 1) ノースドックの揚陸艦の配備に反対、横須賀など軍事基地の再編強化など、平和と民主主義の行動に参加する。
- 2) 学術会議会員候補 6 名の任命拒否を撤回させ、学術会議法改悪を阻止し、あらゆる思想統制への動きをやめさせ、学問の自由をまもる。
- 3) 山中市政の市民本位の政策の実現に努力するとともに、花博などさまざまに指摘される問題点には科学的に対応する。黒岩知事の再選をゆるさず民主県政の実現に協力する
- 4) 憲法 9 条を守る運動に参加し、憲法 9 条科学者フォーラムを計画する。科学者 9 条の会、平和で明るい神奈川県政をつくる会などに積極的に参加する
- 5) 大学、研究機関における軍事研究に反対し、労働条件の向上、非常勤職員の雇止めを辞めさせる。
- 6) コロナ後遺症など神奈川の医療体制の強化、行政への働きかけをおこなう。コロナ問題の総括を行う。

2. 研究活動

- 1) 諸会議にインターネットを活用して参加しやすいものとする。また、参加の困難な会員の意見交換の機会をもうける。
- 2) 支部研究交流会を開催し一般の参加をえるように充実させる。従来の初春の研究家にくわえて、秋に市民を対象にした『研究発表会』を開催する。
- 3) 科学者会議の多様な専門性をいかして、市民団体の学習会など要求に応える講師の派遣などを行う。

会計報告および次年度予算(61期)

2025年4月1日

※1 支部会費は会費の内数で括弧書きとした

一般会計

	決算（第60期 2024年5月～2025年4月）			2023（参考）	備考	予算（第61期 2025年5月～2026年4月）	
	予算	決算	差額	決算		予算	備考
収入							
前期繰越金	213,670	213,670	0	150,000		175,610	
会費・雑誌代	504,000	529,200	25,200	464,880		504,000	10,800×50人 900円／月
(支部会費)						(120,000)	(2,400円×50人) 200円／月
補助金	24,000	24,000	0	34,600	本部事務局から	24,000	
雑収入	2,000	23,466	21,466	859	会場募金など	40,000	
計	743,670	790,336	46,666	650,339		743,610	
支出							
会費（誌代）	370,000	311,557	58,443	384,151		370,000	
支部活動費	30,000	45,880	△ 15,880	57,444	研究交流会など	30,000	
会誌等郵送料	45,000	41,392	3,608	60,463		45,000	
公告宣伝費	45,000	78,272	△ 33,272	—	H P 維持など	60,000	15,000
集会参加補助	20,000	17,870	2,130	43,500	参加・交通費※	20,000	
幹事会交通費	37,000	36,841	159	37,920		37,000	
総研会費	36,000	36,000	0	36,000	かながわ総研会費	36,000	
事務用品	30,000	41,466	△ 11,466	46,815	事務・消耗品	30,000	
振替手数料	6,000	5,448	552	6,734		6,000	
予備費	1,000	0	1,000	—		1,000	
小計	620,000	614,726	5,274	673,027		635,000	
次年度繰越金	123,670	175,610	△ 51,940	△ 22,688		108,610	
計	743,670	790,336	△ 46,666	650,339		743,610	

※オンラインの場合 1,000円／1H（一日5,000円打ち）

特別会計（特別事業等積立金）	
収入	
前期繰越金	300,000
一般会計から繰入	0
その他	0
支出	
一般会計へ繰り出し	0
その他	0
残額	300,000

正味財産（現金・預金）		
帳簿		
特別会計	300,000	
前期繰越金	175,610	
計	475,610	
内訳		
振替口座	433,896	ゆうちょ銀行
普通口座	22,430	ゆうちょ銀行
その他	0	
現金	19,284	
計	475,610	

会計監査報告

第 60 期における支部会計に関して、出納記録及び証拠書類を精査し、現金・貯金残高と照合しました ところ、すべて適正に処理されていることを認めました。
以上署名の上報告いたします。

2025 年 5 月 7 日 会計監査 北山 宏之 印略